

東北新報

毎月一回十日発行
編輯發行印刷人 誠
福島縣石城郡新谷村
發行所 東北新報社
福島縣平町二六
廣告料一行五十錢
一部金十錢
一ヶ月郵費共一圓廿錢



電話九番・九九番

平町を想ふ

(其二) 佐藤陽倅

抑々平町の昔を想ひ起す時に、五十年前に於て炭礦の開けたのが平町の發展を急がせ維新後の平町として(ちよんまげ姿)が俄か商人となり前掛け姿の人が多くなるにつれて、内郷村、湯本方面では炭礦の隆盛を極め、即ち只今の磐城炭礦其一つである。又炭礦の發展と共に上野―平間、平―仙臺間と云ふ風に鐵道が開通されるに至りてより平を中心として濱三郡が是又諸般に涉りて進展を加へ來り、自分達が小學校へ入學當時明治二十七八年頃の平町の景氣は實に其總てに於て發展振りを見せたもので、吾人は一年一年と歳を重ねるにつれて平町の大平市を夢見てたつたものだ。

地理的關係もあるが、此が江洲方面を見て筆をふる事にするかの關西第一の都市大阪市は江洲人が頗る根づよく發展をして又其職責が實に堅實で第一親切にして忍ぶ心が甚だ強く共力一致の精神を以て自他共に満足を得る誠に東北には見られぬ心掛で、人の憂は共に憂ふ、人の喜は共に喜ぶと云ふ實に大和民族として世界に魁たる精神の持主が多き故に劣れる者を助け生存共榮の精神なればこそ東北で見られる様な劣者は少いと云ふ結論になる。されば關西人は働くこと云ふ点に至りては昔の人の言ふ通り朝は朝星夜は夜星といふ様に農業、商業、工業皆同一で働く上に遊ぶ事もなかなかなる、商家は大底は第一、第三日曜日其月の休となり、各工場も亦同じ。最近では東京、横濱も關西にまねてゐる様子だが職人さんは朔日、十五日の様である。何れにしても關西方面は何事によらず、きまりよく人間ができて居る。關西方面の風俗は後日くはしく書くとして、此度は平方面や平町民の氣質を赤裸々に書いて見様と思ふ。

當平町として今にして市制を布く事の出来ぬのは各自が平町をして大平市にする云ふ氣持がでない爲めである。たよそ全國町村に於て平町位愚者の多く住居せる町は他にないではあるまいかと吾人は思はれ、吾人も亦愚者の一人であらねばならぬ幸にして吾人は平町を離る神谷村に住んで居る故に少しく平町民よりは平町の風にはあたりが少なく云ふ吾人のまけらしみだ。

扱て當平町に居住して居る町民で實際に成金者としては他町より少くない。然るに平町がかくも名町長や助役、名町會議員がきらを列して居りながら少しの町制に苦しんで今日ある事は如何なる事であるや吾人は實に平町民の自分丈に満足すれば親云ひごも子供云ひごも自むれば働くに職なし云ふ人があるが、其れは大都會の人の云ふ事で、我々地方民の言ふ事ではない。第一平町民の大底は自元の人が多く他より入り來る人としては誠に少い様だ、た互が助け合ひて各自が其利を分ち合ひすれば遂には自他の利益を得せしむ事になるので、互が手を連ねて世渡りをすれば仕

一文もない。故に人の心が變にひがんで來るばかり、親切にしてくられる人があるとしてもそれは自分へ導く手段として却て其人を遠ざける云ふた風で、實に此の氣風は俗は支那人氣風と云ふ固人主義の甚しき者で、此の平町にして支那人氣風の取れぬ内は如何なる名町長、名町會議員が出現しても思想の惡化を強めるのみ、何等得る處なく平々凡々として固人主義者の多くなる丈金持は平町に居れば町税が多く納めなければならぬので平町に事務所を置き、自身は地方より出張して町税を一時少くする考の人が多くなれば遂には平町か日に月にさびれ來るのみ、た金は他方面へ運ばれ平町は空家同様となり、平町は益々貧を極る事となるてはあるまいか。

祝除隊 柏原英介君

東北新報社

分文けが何事にも満足すれば足れりとする理由の元に何事でも其考が頭からはなれる事が出來ず、かゝる考への人が選舉する町會議員様なればこそ町制も亦然りと云ふべきである。當平町民三萬人の内八百人からの貧者を出す云ふ事は生存共榮の精神がぜろと云はざるを得ず、吾人に言はし

一日も早く平町をして平町民をして生存共榮の行道に導く事をばす時として忘れた事はな

(つゝ)

當選御禮

好間村會議員

金成角 叶多美 鈴平吉 大木新 高木清 鈴木重 猪狩貞 强口唯 森永太 緒形濱 志賀長 鈴賀廣 吉田茂 大田久 鈴木丑 吉田次 猪根内 猪狩政 一正

大浦村會議員

高崎清 會川利 高木平 渡邊貴 新妻忠 愛川軍 新妻治 渡邊辰 渡邊平

中野忠太 鈴木武兵衛 片寄甚三郎 根本助三郎

赤井村會議員

大平末太郎 川瀨幸三郎 草野三郎 鈴木忠太郎 古市喜三郎 鈴木義清 菊地德太郎 木田仙次郎 松崎隆太郎 鈴木甚次郎 羽賀政雄

植田町會議員

古川慶福 大平菊藏 松本好吉 小宮山皆吉 渡邊國之助 渡邊重三郎 渡邊義一 高木清一郎

佐藤丑太郎 馬上一郎 北郷繁七 小川福太郎 豐田丑松 赤津甚吾 豐田善三郎 樋田善三郎

勿來町會議員

下田甚次兵衛 鳴澤留太郎 青田信次郎 中野新藏 渡邊梅吉 園部里治 赤津修一 小平山章 小松睦四郎 大平陸四郎 安島武久 大平藤太 北郷慶作 小野富次郎 兒玉富八 赤荒又平 津川壽平

涼味百パーセント

新柄 西陣明石 新柄 せい明石 荷揃 きぬ麻小紋 能登上布絣

新製こうか御召—盛夏向高級品

三井呉服店

電話 二三八四

改築披露

三丁目

花

電一七七

醫

診療科目 ○内臓外科 (整形外科) ○脳外科 (皮膚科) ○婦人外科 (性病科) ○一般外科

院

諸橋外科醫院

醫學博士 諸橋鐵彌

平町新川町廿七(電話四六四)

開

入院室 手術室 完備

業

常陸セメント海岸線特約店 大谷石販賣店 人造石材料一式

防水剤ロータス 防錆剤ロータス 防カビ剤ロータス 防臭剤ロータス 防カビ剤ロータス 防臭剤ロータス

平町田町三九

酒井伴城商店

電話 六六一